

京都芸術 センター 通信



SEPTEMBER
2019

VOL.232

09

発行：京都芸術センター 2019年8月20日



山中suplex「山中suplex毎年恒例! BBQ」活動記録, 2019, 撮影: 前谷開



関川航平「強く移動する」(2018)パフォーマンス
撮影: 市川勝弘 ©スパイラル(株式会社ワコールアートセンター)



タカハシ 'タカカーン' セイジ「芸術と福祉」をレクリエーションから編み直す」

二つの部屋、三つのケース

京都芸術センターでは、関川航平、山中suplex、タカハシ 'タカカーン' セイジら、3組のアーティストが2つの部屋(ギャラリー北・ギャラリー南)を同時に使用しながら、作品を順に展示していく「二つの部屋、三つのケース」展を開催します。

今回の展覧会では、美術館で展示されている絵画、彫刻のようにすでに完成した状態の作品、物体としての作品の展示ではなく、展覧会・パフォーマンスが行われている空間、その瞬間、そこに居合わせた人たちが存在すること／関わることに焦点をあて、それらが時に合わり生成されるものを作品として捉えて展示を行います。

関川航平は、自分自身と鑑賞者が経験する、それぞれの時間と場およびその関係について「散歩られ」というキーワードから考察します。関川は、ギャラリー北とギャラリー南の間を「散歩する」ことからまず始め、その経験をもとに、紡いだ言葉やものをギャラリーに展開していきます。鑑賞者が関川と同様、2つのギャラリーの間を往復すること、いうなれば、「散歩する」ことによって、これらの言葉とものは「散歩られ」るのでしょうか。

山中suplexは、京都芸術センターを山中suplexという場に見立て、ギャラリー南とギャラリー北を「倉庫」と「工房」として使い分けます。その上で、「展示」「罨」「整理整頓」をテーマに3回のワークショップを行います。鑑賞者と協働作業を行うことによって、作品を展示するという体験、また、作品を鑑賞するという体験について示唆を与える時間と場を創出します。

タカハシ 'タカカーン' セイジは、鑑賞者や監視スタッフたちと場を共有し、ただ存在すること＝

「すごす」ことを試みます。タカハシはまた、この試みを一種の「レクリエーション」として捉えて、「すごす」経験をともにする人たちと、適宜「やってみよう」ということをやってみる時間も設けます。そして、日々の展示の終わりには「試演会議」を行い、他者に伝えていくことが難しい「すごす」経験を共有しようとしています。

いずれのアーティストの実践も鑑賞者と時間と場を共有する機会を必要としています。目の前で、作品が生成されていく実験過程をぜひご覧ください！

本展覧会の会期中にあたる9月には、世界中の博物館関係者が集まる、ICOM(国際博物館会議)が京都で開かれています(日本では初開催!)。ICOMにも、本展覧会にもご注目を!!
加藤雅俊(アートコーディネーター)

Profile

関川航平 (Sekigawa Kohei)

パフォーマンスやインスタレーション、視点が移動していく緻密な文章表現や展覧会企画などさまざまな手法で意味の伝達について考察。近年では、2018年「トラベラー: まだ見ぬ地を踏むために」(国立国際美術館、大阪)、2019年「VOCA展2019」(上野の森美術館、東京)などに出演。

山中suplex (Yamanaka suplex)

滋賀県大津市にシェアスタジオを構えインディペンデントな場づくりを試みている。現在10名の作家が在籍し、それぞれの作品制作とともに、展覧会、アーティスト・イン・レジデンスなども実施。2019年Artist in Residence Order#1「Artist Chi-Yu from Taiwan」(山中suplex、滋賀)、「かみこあにプロジェクト2019」(小川阿仁村、秋田)ほか多数。

タカハシ 'タカカーン' セイジ (Takahashi 'Takakhan' Seiji)

アール・ブリュットや舞台芸術との出会いから、現在に繋がる活動をスタートさせる。個人の表現欲求や尊厳(い

る、ということ)、人が関係しあうことで発露する創意、共同体の中に見出せる連鎖的な創造性に関心を寄せている。2014年頃より「無職・イン・レジデンス」を開始し、2017年からは「『芸術と福祉』をレクリエーションから編み直す」を開始。

「二つの部屋、三つのケース」展

会期: 8月27日(火) - 9月29日(日) 10:00 - 20:00

※9月6日(金)、9月17日(火) - 19日(木)は展示替えのため休廊

【ケース1:立ち会う】

関川航平「散歩られ」

日程: 8月27日(火) - 9月5日(木)

【ケース2:選択する、決定する】

山中suplex「二つの部屋、三つのケース」

日程: 9月7日(土) - 16日(月・祝)

【ケース3:演じる】

タカハシ 'タカカーン' セイジ「京都レクリエーションセンター〜施設のための試演〜」

日程: 9月20日(金) - 29日(日)

会場: ギャラリー北・南

料金: 無料

【関連企画】

山中suplex「二つの部屋、三つのケース」

ワークショップ

※無料・要事前申込 ※各回とも休憩時間あり

「展示する」ワークショップ

日時: 9月8日(日) 13:00 - 17:00 定員: 5名

「罨を仕掛ける」ワークショップ

日時: 9月12日(木) 11:00 - 15:00 定員: 5名

「整理整頓」ワークショップ

日時: 9月15日(日) 13:00 - 17:00 定員: 5名

※P2もご覧ください

EVENT CALENDAR 2019.9

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）

催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。

※**㊦**印の公演は、京都芸術センター友の会のご招待券・ご優待割引対象公演です（制作支援事業は京都芸術センターチケット窓口取扱公演のみご優待。共催事業はご優待対象外）

その他、友の会特典詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示

略称					
日 …… 日時	場 …… 会場	席 …… 席主	出 …… 出演、出演		
演 …… 演目、曲目	料 …… 料金	定 …… 定員	主 …… 主催		
共 …… 共催	問 …… 問合せ	対 …… 対象	持 …… 持物		

アイコン					
🖼 美術	🎌 伝統	🍵 茶会	🎵 音楽	💃 ダンス	🎭 演劇
💬 トークイベント	📚 ライブラリー	👥 明倫ワークショップ			

8/27 <small>tue.</small>	🖼 『二つの部屋、三つのケース』展
…	3組のアーティストが、二つの部屋を使用して、順にそれぞれの作品を提示します。
9/29 <small>sun.</small>	🗨 【ケース1：立ち会う】 関川航平「散歩られ」
	📅 8月27日(火)－9月5日(木)
	🗨 【ケース2：選択する、決定する】 山中suplex「二つの部屋、三つのケース」
	📅 9月7日(土)－16日(月・祝)
	🗨 【ケース3：演じる】 タカハシ 'タカカーン' セイジ「京都レクリエーションセンター～施設のための試演～」
	📅 9月20日(金)－29日(日) ※各10:00－20:00 ※9月6日(金)、9月17日(火)－19日(木)は展示替えのため休廊 📍 ギャラリー北・南 🆓 無料
	🗨 【展示ワークショップ】
	📅 9月8日(日)13:00－17:00、9月12日(木)11:00－15:00、9月15日(日)13:00－17:00 📍 山中suplex 👥 各5名
	※P1もご覧ください

8/30 <small>fri.</small>	🎌 御所南小による「令和になごう! 伝統芸能継承プロジェクト」
	京都市立御所南小学校6年生が、能、落語、書道など伝統文化について学んできたことを発表します。
	📅 8月30日(金)13:30－15:00 📍 講堂ほか館内各所 🆓 無料(事前申込不要) 📍 京都市立御所南小学校、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス、京都工芸繊維大学

8/30 <small>fri.</small>	👥 明倫ワークショップ 夏まつり
…	制作室使用者によるワークショップを3日間集中して開催します。ダンスに演劇、美術と多様なラインナップです。
9/1 <small>sun.</small>	📅 8月30日(金)－9月1日(日) 📍 フリースペースほか 🆓 無料 ※詳しいタイムテーブルはウェブサイトをご覧ください

8/31 <small>sat.</small>	🖼 山本麻紀子 上映会「ARE YOU A POLISH GIANT? ポーランド南部ギェヴォント山の伝説を追う旅～だいだらぼうのために・第二部」
	「セレブレーション-日本ポーランド現代美術展-」で展示した映像作品の続編を上映します。巨人伝説をモチーフに、巨大な歯を背負っての登山の結末はいかに?!
	📅 8月31日(土)16:00－17:00 📍 和室「明倫」 🆓 無料(事前申込不要) 👥 30名

9/5 <small>thu.</small>	👥 ダンスカンパニー-KIKIKIKIKIKI「信仰とダンス」
	信仰をテーマに、言葉にしたことを身振りにして、振り付けを作ります。最後には作った振り付けで踊ってみましょう。
	📅 9月5日(木)18:30－21:00 📍 制作室7 🆓 無料 👥 10名 ※動きやすい服装でお越しください

9/6 <small>fri.</small>	👥 劇団しようよ「会話劇に触れる」
	会話劇の手法をみなさんと一緒に試します。「等身大」をキーワードに、自分と役との境界線を行ったり来たりしてセリフで遊びましょう!
	📅 9月6日(金)19:00－21:00 📍 制作室3 🆓 無料 👥 10名

9/7 <small>sat.</small>	💬 KYOTO EXPERIMENT 2019
…	「アートトランスレーター」通訳特別講座
…	国際的な交流の機会がますます増えるアートの現場に必要な「アートトランスレーション」とは? アートに特化した通訳・翻訳を手がける田村かこ氏を講師に迎え、実践を通してクリエイティブな通訳のあり方を考えます。すでに通訳として活動していてアートの現場にも携わってみたいと考えている方、また通訳経験はなくても、アートの現場で人と人をつなぐ仕事に興味のある方の参加をお待ちします。
9/8 <small>sun.</small>	📅 〈レクチャー編〉9月7日(土)13:00－15:00 〈実践編〉9月8日(日)

9/13 <small>fri.</small>	👥 J・トライアングュラー
…	🖼 『Kyoto Makai: Ghostly Japan』DIY VIDEO ワークショップ
9/15 <small>sun.</small>	アーティスト・イン・レジデンス2019公募プログラムの招聘アーティスト、J・トライアングュラー（コロンビア生、台湾在住）によるワークショップ。「幽霊」をテーマに参加者と幽霊物語の録音と撮影をします。
	📅 9月13日(金)、15日(日)18:00－20:00 ※通し参加可 📍 ミーティングルーム2 👥 10名 👤 14才以上 🆓 無料(要事前申込) ※声の録音、映像撮影有

9/14 <small>sat.</small>	🎭 ニカサン／三野新『うまく落ちる練習』 👥
…	Co-programカテゴリーA採択企画。写真家・劇作家・演出家の三野新による新作公演。現代の都市風景における身振りを探ります。
9/16 <small>mon.</small>	📅 9月14日(土)20:00、15日(日)14:00/20:00、16日(月・祝)15:00 📍 講堂 ●脚本・写真：三野新 ●演出：三野新と出演者たち 📍 前売3,000円／当日3,500円 📍 ニカサン、京都芸術センター ※P4もご覧ください

9/15 <small>sun.</small>	👥 渡邊野子「私だけの美しい世界を描く～2019秋」
	水で溶ける油絵の具を使い、小さなキャンバスにあなただけの美しい世界を表現してみましょう。絵の経験がなくても大丈夫です。
	📅 9月15日(日)14:00－16:00 📍 制作室6 📍 300円(材料費として) 👥 10名

9/21 <small>sat.</small>	🖼 J・トライアングュラー『Kyoto Makai: Ghostly Japan』上映会・オープンスタジオ
	J・トライアングュラーが京都で制作中のプロジェクトを公開します。
	【上映会】 📅 9月21日(土)17:00－18:00 📍 和室「明倫」
	【オープンスタジオ】 📅 9月21日(土)18:00－19:00 📍 制作室1 🆓 いずれも無料 ※入退室自由
9/24 <small>tue.</small>	👥 広田ゆうみ＋二口大学「からだで本をよむ 16」
	物語の世界で遊んでみませんか。宮沢賢治の童話を題材に、声に出して読み、身体を動かし、最後には皆で小さな朗読劇をつくります。
	📅 9月24日(火)19:00－21:30 📍 制作室12 🆓 無料 👥 12名 ※動きやすい服装でお越しください
9/25 <small>wed.</small>	👥 SAILING「文字を書く、を踊ってみる」
	1つの文字を書く間にも沢山のことが起きているかもしれません。書く身体の体感にも焦点をあて、動き、振付に残してみましよう。10月5日、6日のダンス公演のワークインプログレスも上演予定。
	📅 9月25日(水)19:00－20:30 📍 制作室4 🆓 無料 👥 6名

9/29 <small>sun.</small>	🍵 明倫茶会『阿修羅から浄土へ』畠中光享の美意識 👥	
	日本画家・インド美術研究者の畠中光享を席主に迎えた茶会。	
	📅 9月29日(日)11:00/13:00/14:00/15:00/16:00 📍 本席：大広間 待合：講堂 ●席主：畠中光享 📍 1,000円 ●内容：大駱駝艦「阿修羅」映像とお抹茶とお菓子 👥 各席20名(先着順/要事前申込)	
		
	畠中光享(来迎) (部分)	鉢久奈緒美(大駱駝艦) 撮影：井上嘉和

10/5 <small>sat.</small>	🎵 ニュイ・ブランシュKYOTO 2019
	🗨 テオ・カシアーニ『LECTURE(02)』
	フランス人小説家・テオ・カシアーニの新作小説『Rétime』を基にした、リーディングとサウンドによるパフォーマンス。
	📅 10月5日(土)19:00 📍 フリースペース ●構成：テオ・カシアーニ 📍 小松千倫(サウンド)、クレオ・ヴェルストルベン、竹之内美美(リーディング) 🆓 無料
10/5 <small>sat.</small>	🖼 KYOTO EXPERIMENT 2019
…	📍 グループ展『ケソン工業団地』
…	ケソン工業団地で日常生活を送っていた一人ひとりによって築かれていた親密なコミュニティにフォーカスし、新しい肖像を描くグループ展。
10/27 <small>sun.</small>	📅 10月5日(土)－27日(日)10:00－20:00 ※10月5日のみ22:00まで延長開廊 📍 講堂、ギャラリー南 ほか 🆓 無料

10/30 <small>sat.</small>	図書室休室日：9月30日(月)
---------------------------	-----------------

制作支援事業

安住の地『Qu'est-ce que c'est que moi?』
激動の19世紀パリを舞台に描かれる、劇団初の音楽劇。
📅 9月13日(金)19:30、14日(土)14:00／19:30、15日(日)13:00／18:30、16日(月・祝)11:00／15:30 📍 THEATRE E9 KYOTO(南区) 📍 一般3,000円／U25 2,500円(当日券は各500増)、高校生以下1,000円(前売当日共) ※要証明書提示 📍 安住の地 TEL：080-5368-0745(制作) E-mail：anjunochimoi@gmail.com WEB：anju-nochi.com

きたまり/KIKIKIKIKIKI新作ダンス公演「復活」
グスタフ・マーラー交響曲第2番ハ短調「復活」全楽章を使用したダンス公演。
📅 9月20日(金)19:00、21日(土)19:00、22日(日)17:00、公開リハーサル19日(木)19:00 📍 THEATRE E9 KYOTO(南区) 📍 前売3,300円／当日3,800円、公開リハーサル1,800円(枚数限定・前売のみ) 📍 KIKIKIKIKIKI TEL：090-4280-7434 (ヤマサキ) E-mail：ki6dance@gmail.com WEB：http://ki6dance.jimdo.com

渡邊野子
『About Love. Like a Monster, 一愛について。怪物のような、ー』抽象絵画(油彩)を通じ、対話を楽しむ展覧会。
📅 9月21日(土)－10月9日(水)14:30－19:00(月曜休廊) 📍 Gallery G-77(中京区) 🆓 無料 📍 Gallery G-77 TEL：090-9419-2326 E-mail：info.g77gallery@gmail.com

広田ゆうみ＋二口大学「受付」
ビルの片隅に潜む奇妙な「受付」。不条理劇の第一人者・別役実の二人芝居。
📅 10月3日(木)19:30 📍 UrBANGUILD(中京区) 📍 2,500円(前売当日共、1ドリンク付) ●KYOTO EXPERIMENT2019 フリンジ「オープンエントリー作品」 📍 広田ゆうみ＋二口大学 TEL：090-3039-9894(アタクチ) E-mail：hirotafutakuchi@gmail.com WEB：http://hirotafutakuchi.blog.jp

TICKET [チケット]

KYOTO EXPERIMENT 2019
神里雄大／岡崎藝術座『ニオノウミにて』
琵琶湖の外來魚問題をリサーチし、内と外が対立する社会情勢に重ねて生態系を問います。
📅 10月25日(金)13:00、26日(土)13:00／19:00、27日(日)13:00 📍 フリースペース 📍 浦田すみれ、重実紗果、嶋田好孝 📍 一般3,000円、U25 2,500円、助六弁当付き食べながら観劇できるチケット各800円増(各公演の5日前まで販売) ほか ●チケット取扱：岡崎藝術座ウェブサイト、京都芸術センター窓口、KYOTO EXPERIMENTチケットセンターほか 📍 岡崎藝術座 📍 京都芸術センター、KYOTO EXPERIMENT

第256回 市民狂言会
📅 12月6日(金)開場18:30 開演19:00 📍 京都観世会館(左京区) 📍 宝の槌、御茶の水、附子、蟹山伏 📍 茂山千作、七五三、千三郎 ほか 📍 前売2,500円／当日3,000円 ●チケット取扱：京都芸術センター、大丸京都店、チケットぴあ(Pコード：496-726) ※団体券2,200円(20名以上)は京都芸術センターにて取扱 📍 京都市

筒井潤／dracom『釈迦ヶ池ーDer Buddha-Teich』 👥
Co-programカテゴリーA採択企画。ドイツにある劇場との国際共同製作による演劇公演。
📅 12月6日(金)19:00、7日(土)・8日(日)14:00 📍 講堂 ●作・演出：筒井潤 📍 鎌田菜都実、ナジャ・デュスターベルク 📍 一般前売2,500円／当日3,000円、U25 2,000円(前売のみ) ※9月1日より販売開始 📍 筒井潤、京都芸術センター、FFT Düsseldorf

Kyo×Kyo Today vol.10
音楽の国「チェコ」の情景
～チェコの作曲家マルティヌー(没後60年)とドヴォルザーク～
音楽の国チェコが生んだ楽曲を、京都市交響楽団メンバーを中心とした京都ラビッシュアンサンブルの演奏でお届けします。
📅 11月26日(火)受付18:00 開場18:30 開演19:00 📍 講堂 📍 京都ラビッシュアンサンブル ほか 📍 B.マルティヌー：クラリネット、ホルン、3つのヴァイオリン、ヴィオラのためのセレナーデ第1番 H217ほか 📍 一般前売1,800円／当日2,000円、学生1,000円(前売・当日共) 📍 京都芸術センター、京都市交響楽団 📍 京都芸術センター TEL：075-213-1000

OPEN CALL [募集]

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2019
芸術祭開催期間：10月5日(土)－27日(日)

[1]短期インターンシップ募集
「舞台芸術の現場に関わりたい」「将来アートに関わる仕事に就きたい」など、熱意を持ち主体的に取り組んでくださる方の応募をお待ちしております。
●応募方法：公式ウェブサイト(https://kyoto-ex.jp)をご確認の上、応募用紙をダウンロード、もしくはKYOTO EXPERIMENT事務局で受け取り、必要事項を記入し郵送してください ●締切：8月24日(土)〔必着〕

[2]ボランティア募集
舞台芸術やボランティアの経験がなくても大丈夫!国際的な舞台芸術祭の現場を支えてくださる方のご応募をお待ちしております!
●応募方法：公式ウェブサイトで詳細をご確認の上、応募フォーム、または郵送、FAXでご応募ください ●締切：8月31日(土)〔必着〕

KYOTO EXPERIMENT事務局 TEL：075-213-5839(受付 平日・土曜 11:00－19:00) E-mail：info@kyoto-ex.jp
--

第41期制作室使用者募集
若手芸術家の活発な創作活動を支援するため、造形及び舞台・音楽作品の制作を行う「制作室」(全12室)を提供します。
●使用期間：2020年4月1日(水)－9月30日(水) ●条件：1申請につき使用期間は最大3ヵ月、制作した作品を京都芸術センター以外の場で発表する具体的な計画があることなど ●選考方法：専門家等で構成する委員会での審査を行います。審査結果に基づき、京都芸術センターで、使用する日時・制作室を調整します。 ●応募方法：京都芸術センターウェブサイト(http://www.kac.or.jp/program/21908/)の募集要項をよく読み、応募書類をメールにて提出してください ●締切：9月30日(月)23:59まで 📍 京都芸術センター制作室担当 E-mail：studio@kac.or.jp

作品公募(工芸) 第5回藝文京展～暮らしの暮らしのみちづれ～
たたむ・しまう等のモーションも含め、コンパクトに暮らしの空間に取りまながら、感覚や価値観を軽やかに拡張させる工芸作品を全国から募集します。
●作品搬入：11月29日(金)、30日(土) ●入選作品展：12月7日(土)－23日(月) ●登録方法：テーマや条件等の詳細は、WEBサイトや要項をご確認ください。 ●登録料：5,000円 ●登録締切：9月30日(月) E-mail：kouboten@geibunkyo.jp ●申込：京都芸術センター窓口(郵送も可) 📍 公益財団法人京都市芸術文化協会 藝文京展係 TEL：075-213-1003

ニカサン／三野新

『うまく落ちる練習』

Co-program カテゴリーAで採択されたニカサン／三野新による新作演劇『うまく落ちる練習』が、9月に上演されます。今回の創作について、三野新さんにお話を伺いました。



三野新 《a motorcycle goes to Alphaville》

——今回の公演は、東京と京都での2都市公演。都市における現代人の身振りについて探る中で、感じていることをお聞かせください。

三野 東京をはじめとした全国各地の都市における再開発の際に出来る風景を「解像度が劣化した風景」と私は定義しています。「劣化した」と言っても、それはネガティブなだけの意味ではなく、「劣化する」ことで生まれる新しい表現が手に入ると考えています。例えば、ドイツの写真作家のトーマス・ルフは、「JPEG」という写真シリーズにおいて、解像度が極度に劣化したモザイク状にも見える写真作品を数多く制作しており、劣化した画像は、写真表現の文脈としてよく使用される技法であると言えるでしょう。私は、その表現が再開発の続く現実の風景にも当てはまっていると考えています。その意味で、解像度の劣化した風景における物語、劣化した風景と身体との関係を考え直す機会として、本作は志向／試行しています。次に、現代人の身振りについてですが、本作ではスマートフォンを持つことが当たり前となったことによって培われた、ミニマルかつ複雑化された手の身振りに注目しています。最近意識している指人形を用いたパフォーマンスも、手の身振りを顕在化させることだけでなく、人間の似姿(=模倣)として、人間の様態を「劣化させた」形で象徴的に見せることを可能にしているように思われます。

——現在は東京を拠点に活躍されている三野さんですが、京都にもゆかりがあるそうですね。6月にリサーチとワークショップ、試演会を行いました。改めて京都を訪れてみて感じたことはありますか？

三野 私自身は福岡県出身なのですが、京都は私の母方の実家がある場所です。小さい頃から折に触れて伺うことが多かった場所です。今回久

しぶりに京都のフィールドワークを行った時、その風景の変化に驚きました。2019年6月のワークショップと試演会では、先にもお話しした「解像度の劣化した風景」を東京との比較で考え、実験し、制作に繋げることを目的としている部分がありました。興味深かったのは、京都市の景観条例を調べていた時、条例に書かれた言葉には「優しさ」がある、と感じたことです。なかなか説明が難しいですが、条例の持つ実行性の強い言葉を読んで「優しさ」のような感情的な感覚が生まれることはなかなかない経験なのですが、その条例を作るに至った京都市民の風景に対する明確な意思というか欲望が垣間見えた、というべきかもしれません。京都市は、訪日観光客の急増を受けて、多くの空き家や古民家がゲストハウスやホテルに改装されることが多く、その際に作られる建築と景観条例がミックスされた独特の「グロテスク」な風景を生み出している状況を垣間見ました。「グロテスク」なのは、ゲストハウスやホテルの施主さんたちの欲望と景観条例を作った市民たちの欲望のかたちの衝突が極めて強調された上で、都市空間に溢れ出て見えるからです。とても良いな、と思ったのは、とてもモダンなコンクリート打ちっ放しの外装の上に、落ち着いた色の瓦のイメージが張り付いている建築物でした。現実の情報量の多さの中で、取り扱いやすいように、適度に劣化させて作られた京都市の新興の風景をみて、僕は「解像度の劣化した風景」の持つ美しさを感じました。若干ひねくれて聞こえるかもしれませんが、本当にそう思いました。試演会では、京都市内の都市部に表われ出る、そのような風景表象の「グロテスクさ」に焦点を当てて、それらへ向かってどのように身体に関わり合えるのか、介入できるのか、という試みを行いました。その結果から、本作に向けてとても貴重なインスピレーションを得ることが

きたと思います。

また、昨年、芸術センターで開催された「Tips」展でインスタレーションを展開しましたが、今回は演劇作品を発表します。東京だとメディアが変わることで、客層が違ってくる部分が大いという印象があり、京都だとそこらへんが良い意味で曖昧というか、メディアとしてのみでなく、それらを包括する芸術・表現として見てもらえる割合が高いな、という印象です。ですので、演劇好きの方は引き続き気にかけていただきつつ、是非とも美術や音楽、ダンスなどジャンルに縛られず見てもらえる人が多くなると良いと考えています。

「見つからない都市風景のなかに、どんな豊かさが見出せるのか。意欲作に注目です。」 當間芽(アートコーディネーター)

Profile

三野新 (みの・あらた)

1987年福岡県生まれ。ニカサン主宰。写真家・舞台作家。「恐怖の予感を視覚化する」ことをテーマに作家活動を行っており、物語・写真行為・演劇を横断的に試行／思考しながら制作している。主な受賞歴にフェスティバル／トーキョー 12公募プログラム選出、第2回・第4回写真「1_WALL」展入賞、第17回AAF戯曲賞ファイナリストなど。「『息』をし続けている」は人間レストラン(歌舞伎町)にて常設展示中。

ニカサン／三野新『うまく落ちる練習』

日時：9月14日(土)20:00、9月15日(日)14:00
／20:00、9月16日(月・祝)15:00

会場：講堂

脚本・写真：三野新 演出：三野新と出演者たち

料金：前売3,000円／当日3,500円

主催：ニカサン、京都芸術センター

※P2もご覧ください



各イベントの詳細・最新情報はウェブサイトでご確認いただけます。

公式ウェブサイト

<http://www.kac.or.jp>



kyotoartcenter



@Kyoto_artcenter

Since 1971
MAEDA'S COFFEE
KYOTO ART CENTER 1F
MIUROMACHI, TAKOYAKUSHI
NAKAGYOKU, KYOTO
TEL.075-221-2224
10:00~21:30 everyday



京都芸術センター叢書 二
「伝統芸能ことはじめ」

小林昌廣 著 定価 3,456円(税込)

京都芸術センター窓口、もしくは下記ウェブサイトよりご注文いただけます。
<http://www.kac.or.jp/shop/>

京都芸術センター KYOTO ART CENTER

交通案内

- 市営地下鉄烏丸線「四条」駅／阪急京都線「烏丸」駅
22番出口・24番出口より徒歩5分。
- 市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間

- ギャラリー・図書室
情報コーナー・チケット窓口 10:00~20:00
- カフェ 10:00~21:30
- 制作室、事務室 10:00~22:00

休館日 12月28日から1月4日

※設備点検のため臨時休館することがあります



〒604-8156 京都市中京区室町通船場下る山伏山町546-2
TEL : 075-213-1000 FAX : 075-213-1004
E-mail : info@kac.or.jp

指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会